



宇和島城通信

1

2008.4



宇和島城の整備計画を立案・着手してから、今年で15年目を迎えます。しかし、市民の皆さんへの広報が十分ではなかったことを反省しております。

今年度から、不定期にはなりますが、昨年度の成果や今年度の予定などお知らせする『宇和島城通信』を発行することとしました。

【上の写真】

代右衛門丸跡の石垣の崩落現場の写真です。平成18年7月にこの崩壊が判明しました。石垣の上に生えたクスが大きく成長したことも、原因の一つと考えています。

【左の写真】

宇和島郵便局裏の調査現場です。消防署から郵便局のあたり一帯は三之丸があった場所ですが、市街化によりそのほとんどは失われてしまい、現在は高さ3m、長さ50mの石垣が残されているのみです。この石垣が傷んでいることから、解体修理を行うために平成14年より発掘調査を進めていました。その調査が昨年度で終了し、今年からその修理工事に着手したいと考えています。

■ 宇和島城保存整備事業の歩み

◆ 計画策定

まず、平成 6 年度に基本資料となる宇和島城周辺の平面図（500 分の 1）を作成しました。そして、平成 7～8 年の 2 カ年で、自然・考古・文書・石垣・建築等の大学教授をはじめとした専門家や有識者で組織する委員会を立ち上げて、その計画策定にあたりました。

◆ 整備事業

平成 9 年より国（文化庁）の補助を受けて事業に着手しました。平成 18 年度までの 10 カ年を第 1 次計画として、平成 13 年度までを確認調査などの準備期間、平成 14 年度から本丸跡の矢倉復元をメインにした整備にとりかかることとしていました。

しかし、平成 9 年度の二之丸跡の調査で、計画策定段階では土砂に埋没して把握しきれていなかった石垣のひどい傷みがわかり、平成 10 年度より至急その修理工事にかかることとなりました。その後、他の場所でも同様の状況が確認され、平成 12 年度には建物復元整備から石垣修理を主体とした史跡公園としてのランドデザインの整備へと計画変更し、昨年度までの総事業費は約 2 億 5 千万円弱となっています。今まで発掘調査や石垣の測量図化などに重点を置いて取り組んできましたので、皆さんがお城山にこられても目に見える形のは少なかつたといえます。

【現在までの事業費額】 ※ 3 月 14 日時点で見込んでいる数値です。

248,542 千円

● 工事関係	79,293 千円	● 委託業務関係	79,906 千円
● 発掘調査関係	78,882 千円	● 事務経費等	10,461 千円

【主な実績】

- 事業計画策定（平成 6～8 年度）
- 石垣悉皆調査（平成 10 年度）
- 本丸跡発掘調査（平成 17 年度～18 年度）
 - ・発掘調査・石垣及び地形測量
- 二之丸跡整備工事関係（平成 9 年度～平成 16 年度）
 - ・発掘調査・石垣及び遺構測量・石垣修理（約 140 m² ※ 立面積）
 - ・遺構表示
 - ・環境整備（植栽・解説板・標柱）
 - ・地質（地耐力）調査
- 代右衛門丸跡石垣崩落箇所調査（平成 19 年度）
- 本丸及び二之丸復元図作成（平成 17 年度）
- 三之丸跡整備工事関係（平成 14～19 年度）
 - ・発掘調査・石垣及び地形測量
 - ・不適切施設撤去（既存ロックフェンス）
- 本丸及び長門丸跡石垣測量（平成 19 年度）
- 藤兵衛丸跡発掘調査及び石垣測量（平成 9 年度）
- 代右衛門丸跡石垣測量（平成 12・17 年度）
- 上り立ち門保存修理工事（平成 17～18 年度）
- 宇和島城全域の地質調査（平成 16 年度）

■ 今後の宇和島城保存整備事業

◆ 市町村合併特例事業として

第 1 次事業計画が終了したことから、事業計画を見直しを行い、昨年度からは市町村合併特例事業としても実施しています。平成 27 年度を目処に、老朽化している児童公園や城山郷土館を、観光客の方にも市民の皆さんにも利用してもらえるお城の交流施設としてリニューアルする予定です。

◆ 避難場所として安全確保

城山は、近い将来起こりうる地震災害時の避難場所となっています。避難場所の役目を十分果たせるよう、登城道周辺の石垣修理等の安全対策工事を迅速に進めます。

◆ お城山の外でも

現在の史跡指定地は、城本来の範囲の 4 分の 1 程度、約 10 ヘクタールとなっています。三之丸や御浜御殿、お堀など市街地化された約 28 ヘクタールの部分についても、それらを実感していただけるサイン施設やガイドパンフレットの作成などに取り組んでいきます。

◆ ソフト事業もがんばります！

市民の皆さんにお城山の魅力をもっと知っていただけるような講座やイベントを皆さんと一緒に企画、運営していきます。



城山郷土館

弘化元(1845)年、三之丸の武器庫として建てられたお城にかかわりのある建物です。昭和 41 年市が譲渡を受け、藤兵衛丸跡に移築し、城山郷土館として民具資料などを展示しています。



搦手門矢倉台の石垣

平成 16 年 7 月、丸之内 2 丁目の工事現場で確認されたものです。保存出来ませんでしたが、堀幅など貴重なデータが得られました。

■ 現地説明会のご案内

代右衛門丸跡の石垣崩落現場の現地説明会を下記のとおり行います。石垣崩落の原因や石垣の特徴などについて説明します。石垣を少しずつ押し出していったクスの根の張り具合は、圧巻物です。

また、その周辺は立入禁止区域としていますが、数年内に一般公開する予定です。石垣と竹林とが織り成す“和”を感じさせる景色は、一見の価値あります。是非、お越しください。

●日 時：4月26日(土) 午後2:00~午後4:00

●場 所：宇和島城代右衛門丸跡 ※詳しくは4ページのマップをご覧ください。

●その他：舗装されていない道がありますので、運動靴でお越しください。



■ 城山ガイドマップ

江戸時代中頃の絵図や発掘調査の成果を元に、現在の地図に矢倉や堀などを重ねてみました。堀内側の白地のところは、そのほとんどが武家屋敷となります。今回、表紙で紹介した三之丸跡は赤丸、代右衛門丸跡には黄色丸をつけています。

お花見がてら、マップ片手に城山の散策にいらっしやってください。



黒門矢倉と黒門 (年代不詳)
明治 42 ~ 43 年に内港拡張で撤去されます

追手門 (明治初年頃)

第2次世界大戦時に焼失、当時の国宝でした



■ 問い合わせ先

教育委員会 文化課 文化財保護係 【Tel】 24-1111(内線)317 【Fax】 22-5058 【Mail】 bunka@city.uwajima.lg.jp